

ラグビー日本代表チームを激励!

ラグビーワールドカップ2015イングランド大会に向けて4月から宮崎市を拠点に強化合宿している日本代表チームに、宮崎産完熟マンゴーを贈呈し激励しました。また、エディー・ジョーンズヘッドコーチからお礼に選手のサイン入りユニフォームをいただきました。ユニフォームは宮崎駅西口KITENビル1階「スポーツプラザ宮崎JERSEY」に展示しています。宮崎で強化した選手のワールドカップでの活躍に期待します。



神々が宿る大地 宮崎でフラの祭典

7月3日から7月6日まで、シーガイアコンベンションセンターで、フラの祭典、モク・オ・ケアヴェ・インターナショナル・フェスティバル2015日本大会 in 宮崎が行われました。今年で10回目を迎えた同大会では、全国からフラ愛好者の皆さんが、ハワイで開催される世界大会への出場を目指して、日頃の練習の成果を披露。会場では、ハワイアンメロディやハワイ雑貨の販売なども行われ、本場ハワイの雰囲気に包まれました。

Miyazaki Topics

宮崎市
旬の話題 “みやとピ”



国有財産が市に譲与されました

6月19日、九州財務局宮崎財務事務所から、霧島5丁目の国有財産(宮崎地方気象台隣接地、約2万2千平方メートル)が無償で譲渡されました。大規模災害発生時は応急仮設住宅の建設や物資の仕分け・保管などを行う場所として、平常時は多目的広場として活用していく予定です。今後、整備内容を具体的に検討していきます。

新・サンシャインレディ決定!

6月6日、第33代宮崎サンシャインレディ最終選考会が行われました。応募総数35人の中から公開審査の結果(写真左から)椎屋瑠依さん、須藤里紗さん、成合円美さんが選ばれました。7月25日(土)・7月26日(日)のまつりえれこっちゃんみやざきから2年間、県内外の観光行事や観光キャンペーンなどに参加し、宮崎を全国にPRします。



↓ 昭和53年8月号が電子書籍で読める!

自然とスリルを満喫 第2回大淀川イカダ下り

アイデアを凝らした112のイカダ軍団が7月16日大淀川を下りました。高岡町花見橋上流から出発し流れにまかせて14キロ、2時間半から4時間を費したどのチームもたくたくとゴールイン。



※QRコードの読み取りには、アプリ「QR・JANコード読み取りバーコードリーダー」を推奨しています。

今回の旅行先 昭和53年

「大淀川イカダ下り」って?

今月発掘するのは、昭和53年8月号に掲載された「大淀川イカダ下り」です。

30年間市民に愛され続け、アイデアを凝らしたさまざまなイカダが大淀川を下って見物客を沸かせた、「夏の大淀川イカダくだり大会」。企画・運営にボランティアとして取り組まれた、当時の大会会長に、話を聞きました。

この大会は大淀川の大切さを伝えながら、感動や達成感を仲間と味わってもらうため、ボランティア主催でスタートしました。第1回から若者を中心とした450人(104チーム)の参加があり、賞の獲得に向けて、イカダの装飾は年々パワーアップしました。今にも動き出しそうな龍の口から水を噴射するパフォーマンスなどもあり、大いに盛り上がったのを覚えています。今でも当時のイカダを大切に保管されている話を耳にするとうれしくなりますね。これからも当時の感動を忘れずに、大淀川を見守っていきたいです。



大淀川に対する思いを掲げたイカダ



30年間無事故だったことは、今でも私たちの誇りです

むろのその かずみ
室之園 一三さん

地名むかしむかし 2015 ③ 「おおつか」

昭和35年4月号から1年間連載されていた「地名むかしむかし」。市内のいろいろな地名の由来を当時の文章のままお届けします。

昭和35年7月号より



戦場坂の戦いで亡くなった人を葬ったといわれる、大塚町天神後の人塚。

宮崎市内の地名には相当古いものが多いが、この大塚(おおつか)もまたその一つである。ここを大塚というのはここには古墳が多いから「日向地誌」によると明治の初めには、ここに九つの塚がありこのほか大小四十余の塚が散在している、とある。「中略」古い時代には大塚といった。墓も塚も同じものである。記録をたどれば、平安時代に大塚別府という荘園があった。「中略」そこで大塚が大塚になったのは、いかとうに、正確な文書がないが天正19年(1591)の日向国五郡分帳には宮崎郡に大塚三十町として村名が出ているから、近世のはじめごろと思えば間違いはあるまい。すなわち豊臣秀吉が天下を統一して村の制度を確立したころに大塚を大塚に改めたのであろう。